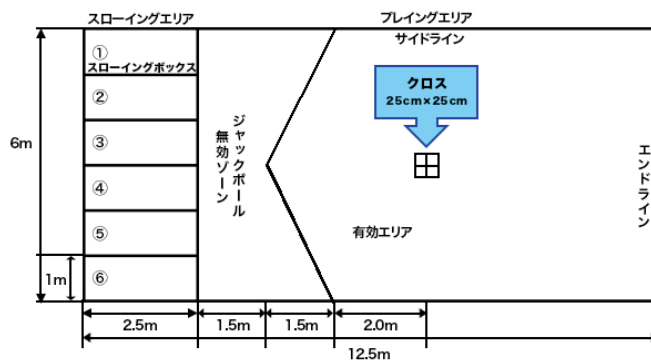


# 種目: ボッチャ

## ボッチャのコート(スローイングエリア: 6 ボックス)



## 対戦方法 (競技部門)

|            |                      |
|------------|----------------------|
| 個人戦(1vs1)  | 上記コート③・④のボックス        |
| ペア戦(2vs2)  | 上記コート②・③・④・⑤のボックスを使用 |
| チーム戦(3vs3) | 上記コートすべてのボックスを使用     |

## 進め方

ここでは、チーム戦(3vs3)を想定して、説明をしていきます。  
試合の構成は、個人戦、ペア戦は 4 つのエンドで 1 試合が構成され、チーム戦は 4 ~6 つのエンドで 1 試合が構成されます。

①じゃんけんをして、勝ったチームが先攻か後攻を選びます。  
先攻を選んだチームは、ボールが赤となり、上記コートの①・③・⑤に入ります〔後攻は青ボールとなり、上記コートの②・④・⑥に入ります。〕

②審判の指示により、ジャックボールをプレイングエリアの任意の地点へ先攻チーム(赤)が投球します。

**注意！** ジャックボールが「ジャックボール無効エリア」に止まったり、コートから出たり、サイドライン、エンドラインに触れていても反則となります。  
※先攻チーム(赤)が投じたジャックボールが反則となった場合は、後攻チーム(青)に投球権が移ります。再度、青チームが投じたジャックボールが反則となった場合は、赤チームに投球権が移り、有効エリアに留まるまで交互にジャックボールを投球します。

③審判の指示により、ジャックボールを投げた選手が最初のカラーボール(赤)を投球します。

※ジャックボールの投球権が青チームに移っていた場合は、青チームが投球します。

※ボールの投球時に、投球者がスローイングボックスから出たり、線を踏んだりして投球をしてはいけません。また、投球後も線を踏んだり、スローイングボックスから出てはいけません(デッドボールとなり、コート外へボールを出します)。ジャックボール投球時も同様とします。

※投じたボールがコート外に出たり、サイドライン、エンドラインに触れていても、デッドボールとなり、再度投球し、有効エリア内にボールが留まるまで投球します。

※ボールの投球はチーム内の別の選手が投げても良いことになっています。

④審判の指示により、青チームが、ボールを投球します。

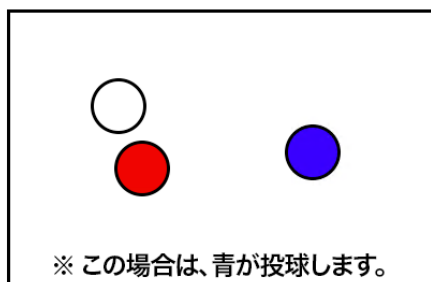


図 - 1

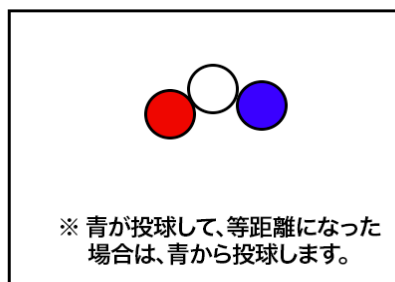


図 - 2

以降、ジャックボールから遠いチームがボールを投げていきます(図-1)。なお、各チームの投球順は決められていませんので、誰が投球しても構いません。すべてのボールが投げ終わると、第 1 エンド終了です。

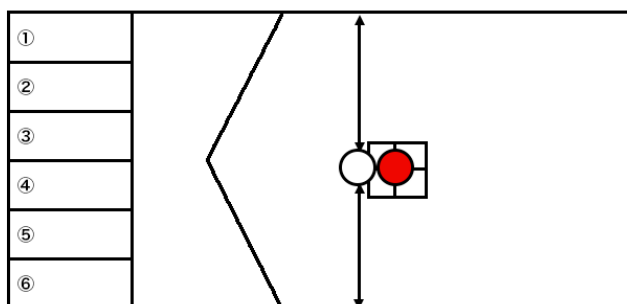


図 - 3

ゲーム中、ジャックボールがコートからはじき出された場合は、クロスを中心にジャックボールを置きますが、すでにクロス上にカラーボールがある場合は、クロス全面にサイドラインから等距離となるようにジャックボールを置きます(図-3)。

⑤すべての投球後、得点をつけます(図-4)。

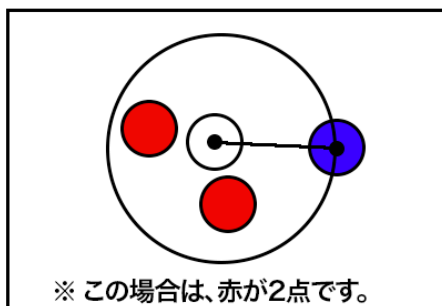


図 - 4

※図-4 は、赤チームが 2 点で、青チームが 0 点となります。

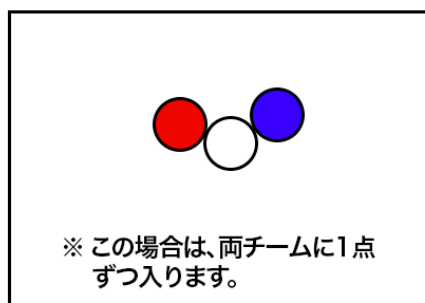


図 - 5

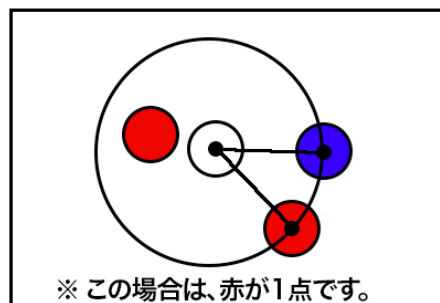


図 - 6

⑥第 2 エンドのスタートです！

第 2 エンドは、青チームがジャックボールを投球します。すべての投球が終了後、得点をつけて、合計点数で勝敗が決まります。